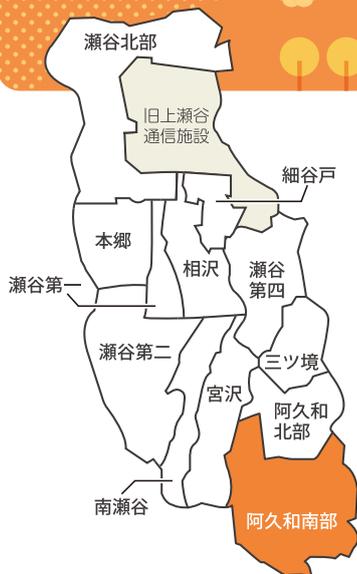


阿久和南部地区



1 地区の概況

- ◆瀬谷区の南端に位置し、畑や牧場、緑豊かな公園が多く泉区と旭区に隣接している。
- ◆約12,000人が住んでいる。高齢化が進んでおり高齢化率が約30%で区内4位と高い。
- ◆各種行事が活発に行われ、人と人とのつながりのあたたかさを実感できる地域。

2 第1期～第4期で取り組んだ主な活動や事業

- ◆地域で開催するお祭りやイベントを通じて、高齢者・障がい者支援事業を継続するとともに、子どもの学習支援や放課後の居場所づくり(寺子屋ふたば)を新規で実施した。
- ◆地区内の単位自治会の活動・行事を情報共有し、連合内や地区社協、その他の団体との連携について協議した。
- ◆長年続いた配食サービスの終了を受け、阿久和南部・北部地区が一体となり高齢者の見守りについて協議した。その結果、新たに「見守り配食グループわか」を結成し、配食サービスの再開を実現した。
- ◆阿久和南部敬老会では、会場までの送迎支援を新たに導入した。移動が難しい高齢者が増えてきた状況を踏まえ、近隣福祉施設の協力を得て送迎体制を整備し、参加しやすい環境を構築した。
- ◆従来から行っているお祭り(南部まつり)や地域行事に、近隣の中高生が主体的に関わる機会を設けた。企画の一部を任せたり、お祭りのブースを運営してもらったり、イベント出演をってもらうなど、多様な形で地域の一員として活躍できる場を創出した。



高校生が先生役



見守り配食グループわか



車送迎付きで敬老会開催



お祭りに中学生が出演

3 第5期計画に向けての課題

- ◆参加者の声を聴く仕組み
様々なイベントや活動の継続・拡充のために、主催者側だけではなく、参加者の意見や感想を把握し、振り返りに活かす仕組みが必要。
- ◆支えあう仕組みづくり
地域の担い手を広げ、支えあえる仕組みをどう構築していくかが課題。
また、社会参加や人との関わりが住民の健康維持にもつながる視点を取り入れることが重要。
- ◆情報発信の工夫
イベントに参加できない人にも情報を届け、地域とのつながりを広げていく工夫が必要。

4 推進母体

阿久和南部連合自治会、阿久和南部地区社会福祉協議会、阿久和南部地区民生委員児童委員協議会、各委嘱委員等(事務局:南部地福計画策定委員会)

いつまでも住み続けたい

ふるさとまちづくり

～みんなでつながろう なんぶ・あくわの ^わ和！^わ輪！^わ笑！～



地域で見守る 高齢者、障がい児・者とのあたたかい輪！

- ・地域の見守りを通じて、高齢者が安心して暮らせる環境を整えます
- ・認知症への理解を広げ、誰もが暮らしやすい地域をめざします
- ・障がい児・者を支える人のつながりを充実させていきます

地域交流でふるさとづくりの和！

- ・地域・地区行事の継続とさらなる発展をめざします
- ・地域防災の体制を整え、取り組みをさらに推進します
- ・福祉活動団体・グループのつながりを深め、協力し合える関係を築きます
- ・多世代交流で地域への愛着を育み、担い手を育てます

地域で育む 子ども・子育て世帯との笑！

- ・学習支援や放課後の子どもの居場所づくりを続け、さらに充実させます
- ・中高生が積極的に地域活動に参画できる環境を整えます
- ・地域で子どもや家庭を温かく見守る活動を推進します

自治会・地区社協・民児協
そして地域に暮らすみんなが
つながり「和・輪・笑」を推進します。
さらに、地域内の施設・企業・学校・医療・
消防・警察などの様々な機関と連携し、切れ目の
ない支援体制づくりを目指します。